

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 25 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 20 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	32000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 146 円)	B 日本円	備考
授業料	6771	円	10units
宿舍費	6314	円	ダブルルーム
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	150	円	
現地交通費		円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		35,580 円	形態: 明大サポート
渡航旅費		198,760 円	LCC を中心に最安を目指した。
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	13,235 (=1,932,310 円)	234,340 円	
総計(A+B) ※円		2,166,650 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：サンフランシスコ国際空港 経由地：ロサンゼルス国際空港

復路 出発地：サンフランシスコ国際空港 目的地：羽田空港国際ターミナル 経由地：カンクン国際空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ハワイアン航空 料金：79,800

復路 航空会社：ユナイテッド航空 料金：118,960 ∴合計：198,760

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： Trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： international house) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

インターネット

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

バークレーで最も規模が大きい寮だと思う。本当に多国籍で、ゲームルームや共有キッチンなどがあるので交流の場には困らない。日本のラーメンやカレーなど簡単に調理できるものを持っていくと、海外の友人に喜ばれる。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

地名+危険な場所でネット検索をし、スマホのマップにピン刺しておいた。サンフランシスコだとテnderロインは、本当に危険らしいので近づかないことをおすすめする。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

寮内も大学構内も基本的に問題なかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本支払いはクレジットで行った。失念していて100ドルほどしか両替していかなかったもので、クレジットで友人のを建て替え、現金でもらうなどすることで現金は調達した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ヘアオイル、洗顔料などの化粧品は日本人に合わない可能性が高いので、たくさん持っていくとよい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前2月ごろにクレジットカードで支払ったと記憶している。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	☒ 8 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Food and Environment	食環境
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 年 5 月 27 日～7 月 4 日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン、ディスカッションスタイル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回
担当教授	Julia Chang
授業内容	事前にリーディング課題が課され、授業でディスカッションをする。このステップで毎回進んでいく。映像資料やゲストスピーカーなど学生が飽きないような工夫がなされていた。
試験・課題等	試験は、スピーキング形式とライティング形式。どちらも授業内で扱った内容について自身の意見を述べる形式。 課題は週一回いずれかの文章について感想を書く。 試験も課題もかなり多かったが、力になった。
感想を自由記入	食環境について、文献を読み他の学生たちとディスカッションをして理解を深める形式だった。児童労働問題などかなりセンシティブな内容も扱うので、現在の食環境や食流通システム、未来の食糧供給についてかなり考えさせられた。事前知識があった方が良いが、無くてもついていけないほどではない。週一回のライティング課題と最終テストで評価され、かなり忙しかったが、先生は新任の先生で発言を促してくれて、発言するのに抵抗がなくなり、最初の授業としてはかなり良い選択だったと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Leading People		組織論
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	2025 年 5 月 27 日～7 月 4 日	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッションスタイル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	良いリーダーとは、良い組織とはというようなマネジメント全般の内容を、教科書、映画、ゲストスピーカー、ディスカッションなどで多角的に学ぶ。授業内の発言など積極的な姿勢が求められる。	
試験・課題等	2 回の激重テストとチームプレゼンテーションで 700 ページ超えの教科書を完走する。	
感想を自由記入	リーダーに求められる資質や良い組織の特徴などを教科書を基にディスカッションするスタイルだった。先生は過去に企業でマーケティングの責任者を担うなど経験豊富な人で、性格的には優しくかった。こちらも激重テスト×2 とチームでのプレゼンテーションで評価され、かなり忙しかったが、かなり成長できたと感じている。またマネジメントに興味があったのでここで学べてよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business and Entrepreneurship		ビジネスと起業家精神
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	2025 年 7 月 8 日～2025 年 7 月 24 日	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義スタイル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Christine Beckman	
授業内容	ビジネス思考の基礎(特にジョハリの窓などのフレームワーク)を講義形式で学ぶ。	
試験・課題等	プレゼンテーション 1 回	
感想を自由記入	全 6 回とかなり少ない授業数だったが、基本的なフレームワークやプレゼンテーションスキルを向上させることができたと感じている。先生は発言をしっかり聞いてくれて、日本のことが好きでかなり仲良くなれた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	2025 年 7 月 8 日～8 月 14 日	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Wasim Azhar	
授業内容	初め 2 週間ほどは基本的なマーケティング的な思考やフレームワークをインプット、その後はケースやゲストスピーカーの話を通してアウトプットしていく。	
試験・課題等	課題としてはグループでのレポートが 3 回とテストが 1 回	
感想を自由記入	先生はインド系で初めは英語が聞き取りづらかったが、あきらめずに授業に参加、発言することで最終的には先生に名前を覚えてもらえるほど関係性を築けた。テストも課題もそこまで重くなく楽しんで授業を受けられた。最もとってよかったと思える授業だった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	情報収集、出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	寮、授業、ビザ申し込み
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私から伝えたいことは2つある。

1 つ目は行動力を磨いてほしい。留学先では、授業での発言、友達作りなど行動力が必要となる場面が多々ある。いくら語学力があっても、使おうとする意思、行動が無いと、お金と時間を使って留学に行く意味はないと考える。日ごろから、授業で発言する(日本語で発言できなければ、英語でできるはずがない。)、初めて会う人とコミュニケーションをとってみるなど「行動力」をキーワードに生活することをお勧めする。

2 つ目は今しかできないことを優先的にやって欲しい。自分は3年でこのプログラムに参加したが、就職活動の影響で思うように遊ぶことができず、公開していることが何点かある。バークレーに限らず、留学先では、ここでしかできないことという軸で「正しい」よりも「楽しい」をモットーに生活すると、留學生活がより良いものになると考える。